

9. 魚津市民バス事業再構築活性化プログラム 検討経過説明会

9.1 交通事業者等説明会

(1) 日時 平成22年3月1日(月)午後7時00分～午後8時30分

(2) 場所 新川文化ホール 104会議室(1階)

(3) 出席者

1) 交通事業者等

●魚津交通株式会社

常務取締役 経塚 徹

●NPO 法人上野方地域活性化協議会

馬場 均(理事長)、中村 正敏、盛永 高弘、宮坂 新太郎、大沢 幸一

●NPO 法人松倉地区バス運行協議会

米山 久清(理事長)、中田 登与志、松田 治之、肥塚 武志、窪田 眞治

●NPO 法人坪野北山バス運行協議会

清河 茂雄(理事長)、池川 富士夫、富川 清明

●NPO 法人魚津市西部地域活性化協議会

江幡 岩雄(理事長)、小川 栄幸、久崎 義治、赤坂 喜英、二川 晃

●NPO 法人天神地域活性化協議会

大久保 義雄(理事長)、中田 進(副理事)、素野 二三男

下司 千代丸(運転手)、関口 正志(監事)、中田 好子(市老人クラブ連合会理事、利用者代表)

●NPO 法人経田道下地区バス運行協議会

南部 敏之(理事長)、高瀬 忠次、葉勢森 正之、大崎 勇

2) 事務局

●魚津市産業建設部次長兼商工観光課長 沖本 喜久雄

●魚津市商工観光課 市街地活性化室 村崎 博

●エヌシーイー株式会社 交通計画部 渡邊 将一郎

(4) 意見・要望等

■意見・要望 1

- ・計画書は、項目を羅列したもので抽象的すぎる。今後、具体案を提示するのか？
- ・安全の問題とあるが、夢のようなことが記載されている。P34 に「安全管理がおろそかになっている」とあるが、どこまで現場の実情を把握して検討したものか？
- ・例えば、29 人乗りのバスについては、全員座らせて安全と言えるが、立ち客が入れば、安全運行が難しい。天神ルートは、先月 2 回も故障した。故障した場合、その先で待っているお客様へ、どのように伝えれば良いのか考える必要がある。また、現在、NPO により 6 台のバスが運行しているが、スペア車両がない。
- ・このような問題が現実的に起きている。NPO 法人の苦勞をどこまで知っていますか？
- ・もっといろいろなことを聞きたいが、今後このような話し合いの場はあるのか？
- ・これだけ、人を集めて、H23 年まで話し合いだけで終わるのか？具体的に進めことができる施策はないのか？

(事務局)

- ・この計画は、あくまでも次に向かうための方針ですので、内容が抽象的なものになっています。来年度には、国の補助をもらいながら、さらに重点的に実施していくものを選んで、詳細を検討していきます。そして、H23 年度から社会実験を実施し、見直しを実施していきます。
- ・話し合いの場はこれだけではありません。来年度の具体的な内容を詰めていく段階で、話し合いの場はあります。

■意見・要望 2

- ・6 つの NPO に対して、ノルマを設定している状況の中で、料金収入だけでそのノルマを達成できない状況がある。そこで、料金割引というのは、100 円という非常に低額な設定の中で、さらに下げるといふことか？料金割引は、NPO 法人の経営に影響がある。
- ・地域住民の中には、200 円でもタクシー利用するより安いから良いという意見をよく聞く。料金割引よりも値上げが大事だ。
- ・後継者問題については、NPO を一元化し、新たな体制の中で、アドバイザーをお願いする案が示されているが、そこで、新たな必要経費が発生するのではないか？
- ・各市民バス間の乗継を可能にするためには、今の NPO 法人の体制をどのようにするのか？

■意見・要望 3

- ・6 つの NPO 法人を一元化するということが良いのか？

■意見・要望 4

- ・P41 の当面の見直し案は、地鉄バスを市民バス化するということが前提なのか？経田-道下ルートは、ルートを変えたいが、地鉄バスとの競合の影響で、市役所の前を走らせたりできない。市民バス化により、この問題を解決したい。
- ・誰を対象にした計画なのか？若い人も乗せたいのか？今のままでは、利用者の増加見込みはないと思う。

(事務局)

- ・料金については、値上げも含めて、今後具体的に検討して行きたいと考えています。
- ・当面は、NPO法人を一元化していきたいと考えています。
- ・地鉄バスとの競合については、独立採算性により運行しており、国からの指針の中でも民間の交通事業者を圧迫しないようにと言われており、現在では難しい面があります。しかし、今後話し合いながら、見直しを検討していきたいと考えています。

■意見・要望 5

- ・コンサルさんは、各路線すべてに何回か乗車しましたか？机上の理論だけでなく、もっと現場も見てほしい。

(事務局)

- ・今回は市民ニーズ把握を中心に調査しております。駅周辺などの現場も出ていますが、正直、すべてのバスに乗車しておりません。まだ、方針レベルの検討ですが、今後詳細を詰めていく段階で、そういう面においてもしっかり把握していきたいと思います。

■意見・要望 6

- ・この場以外に話し合いの場はあるのか？

(事務局)

- ・先程申した通りですが、来年度詳細な検討を実施していく段階で、皆さんの意見を頂きたいと考えています。

■意見・要望 7

- ・交通管理者である私とコンサルの方とは、面識がない。本来ならお互い顔を合わせて、我々の現場の声をしっかり聞いてほしい。
- ・私も高齢で、いつどうなるか分からない。いつでもこの事業をやめても良い。あと2年程度が限界ではないかと思う。検討だけでなく、早く実施してほしい。
- ・今まで、この市民バス事業を立ち上げる際、後継者問題を考えずに、計画を進め予算を組んできたことが問題だったと思う。

■意見・要望 8

- ・今日提示していただいた計画には、良いところがある。だから、来年度も我々も参加できる話し合いを継続してほしい。

～会議開催翌日以降に頂いた意見～

■意見・要望 9

- ・行政負担による地鉄バスの運賃引下げについては、地元負担はあるのか？

(事務局)

- ・今後、地鉄バスと協議を進めて当初実験という形でスタートできたらと考えている。実験の間については、原則地元負担を考えていない。実験終了後には、他の市民バス運行地区との整合性を踏まえ、地元負担を予定している。

■意見・要望 10

- ・P29 方針 1「良いところは伸ばす、悪いところは正す」の意味はわかるが、文言として不適切ではないか？
- ・P33 2-1 サービスの公平性については、100 円の定額制そのものが不公平に感じる。
- ・P34 2-5 運行安全性の向上については、運行は専門の交通事業者任せにすべきだと思う。
- ・P37 施策案 1「フリー乗降区間」は、利用者に喜ばれると思うが、いろいろな意味で反対です。
- ・P40(2) 地域負担・運営方法の見直し検討については、料金は早急に値上げすべきだと思う。結果は出ています。運営と運行を分け、運営は地区、運行は交通事業者が良い。
- ・会議の感想ですが、地域の方があれほどストレスを感じているとは思わなかった。交通事業者が入ることは良いことだと思う。大変だと思うが、頑張っていたきたい。

■意見・要望 11

- ・再構築活性化プログラムでいろいろと勉強させていただきました。いくつか個人的な意見・感想を述べさせていただきます。
- ・P32 「市民バスを利用しない理由」を見て思ったことがあります。問題を解決していくには、常識的に考えますと、割合が多いものから順に改善していくことが必要です。「車・徒歩、自転車で十分」を解決して、減らせればバスの利用者は増えると思います。ただし、強制はできません。
- ・では、「次に多い利用したい時間帯、所要時間がかかる」からは、定期的にアンケートの実施やデマンドなどでは、わずかなニーズに答えることしかできないと思います。
- ・では、どうするのかというところですが、地鉄バスの問題を解決しないとできないのですが。バスの台数を増やし、巡回型にするのはどうでしょうか？例えば、天神地区、加積地区の西・東巡回ルート、上野方、石垣を含め、本江地区の西、東の巡回ルートなど。以前に西回りにしていただきましたが、西・東でカバーできるが、うらやましく思われました(座席数が足りなく、途中で立っていましたが…)
- ・地鉄バスさんが、すでにお考えだと思いますが、女性やコミュニティとしての委託運行となるのでしょうか？
- ・それと、NPO法人の一元化も良い考えだと思います(集中管理システムなどが必要だと思いますが…)。バスロケシステムやGPSナビ導入、FMビーコンなどを利用すれば……。ただし、かなり費用がかかってしまうので、やるならリースですよね？
- ・このような話は、高齢の管理者にはわからないと思いますので、納得するには実物を見ても、時間がかなりかかると思います。
- ・今後の展開に期待します。頑張ってください。

■意見・要望 12

- ・ NPO 法人の一元化について、理解ができるが、よく見えてこない部分がある。

一元化に向けた課題

- ①ルートごとに少しずつ目的が異なる。
- ②ルートによって地域住民の参画度・意識度が違う
- ③ルートによって収入確保に限界があり、それを「他ルート」が負担出来るかどうかは疑問

- ・ NPO 法人に対する説明会について

第一回調査・基本方針・目標設定・施策案ができたところで、各 NPO 法人に説明が必要となるが、その前に、各法人の理事の意見統一が必要。

- ・ 将来目指す体制(案)

行政・法人(地域・住民)・業者の役割とそれぞれの費用負担と全体経費

- ・ NPO 法人上野方地域活性化協議会の場合

① NPO 法人設立時、設立資金、資本金について、地区住民の寄付を募りスタートした。したがって、NPO 法人運営費としての人件費、諸経費は、すべてゼロか、赤字とし、形状の後に寄付を募ることを定款に決めている。したがって、運転手以外は、すべてボランティアと定めている。

② スタート時の目的は、小学生・中学生、交通弱者(高齢者)の送迎

③ 最近高校生・ショッピングの希望が出てきており、時刻の見直しを希望されているが、調整つかず。

④ 今年に入ってから高齢者の利用回数が減ってきており、目標達成が困難。

8.2 地元住民説明会

(1) 日時 平成22年3月2日(火) 午後7時00分～午後8時30分

(2) 場所 魚津市農村環境改善センター 多目的ホール

(3) 出席者

1) 地域住民

- ・片貝地区 10名
- ・片貝地区振興協議会 1名
- ・西布施地区 6名
- ・魚津IC付近住民 3名 計20名

2) 事務局

- 魚津市商工観光課 市街地活性化室 室長 宮野 司憲
- 魚津市商工観光課 市街地活性化室 村崎 博
- エヌシーイー株式会社 交通計画部 渡邊 将一郎



説明会の様子

4. 意見・要望等

■意見・要望 1

- ・ 地鉄バスの黒沢線沿線住民だが、黒沢線を市民バス化するのということか？また、いつごろから実施する予定か？

(事務局)

- ・ この計画はあくまでも方針・方向性を示したものです。市民バス化するのか？現状のままなのかは、まだ決定していません。来年度以降検討していきます。
- ・ 来年度に国の補助を頂いて、この施策を重点的に実施するかどうかを検討するとともに、もし重点的に実施するものになれば、詳細な検討を行います。
- ・ なお、来年度の国の補助で実施に向けて検討する以外で、地鉄バスさんと協議をし、すぐに見直しをできるものについては、実施していきたいと考えています。

■意見・要望 2

- ・ 東蔵線の見直しの際に、片貝コミュニティバスの見直しを進めるとあるが、東蔵線の本数を変えずに時間帯を変えるのか？それとも、増便するのか？

(事務局)

- ・ それぞれの利用者の影響を最小限にするとともに、新たな利用者を増やすか等、詳細な部分は、これから協議した上で検討していきたいと考えています。

■意見・要望 3

- ・ 魚津 IC 周辺の公共交通空白域に住んでいるものだが、公共交通空白域の対応について、もう少し具体的におしえて頂けないでしょうか？

(事務局)

- ・ これから地区に入って、提示させていただいた案の中から、どの方法が良いのか協議させていただきたいと考えています。公共交通空白域は重要な問題であり、来年度の検討の中に盛り込まれると思います。今後ともよろしく願いいたします。